

中国四国農政局長賞

NISSHOKU FARM

株式会社日本植生グループ本社（岡山県真庭市）

【主な品目】

ブドウ（シャインマスカット）

【主な輸出先国・地域】

香港・台湾

【輸出取組の概要】

- 独自の低温貯蔵庫を活用し、ぶどうの品質を保ちながら、需要に合わせて出荷時期を調整、端境期を中心に出荷している。
- 海外需要に合わせた栽培方法、選果基準により、差別化を図っている。

【輸出実績】（平成26年から輸出開始）

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
平成29年度	1,600	11	10～12月
平成28年度	1,000	8	
平成27年度	900	7	

輸出に取り組んだきっかけ

- 当社は環境緑化製品などの製造を行う会社ですが、多角経営の一環として、平成23年に農業分野へ参入しブドウなどの栽培をはじめました。ブドウ（シャインマスカット）の販路開拓を進め、平成26年の輸出試験において引き合いが強かったことから、本格輸出を行うこととなりました。
- 岡山県産の特徴である大粒ブドウは、海外から高評価を頂いており、さらにその出荷時期を遅らせたことで、より海外からの引き合いが強まったことから、輸出に積極的に取り組みはじめました。

取り組む際に生じた課題

- 若木が多い自社農場（1.2ha）だけでは、十分な供給量が確保できず、海外からの需要を満たすことが出来ないという課題が生じました。
- 備中高原（標高430m）での栽培のため、ブドウの出荷時期が岡山県内で最も遅く、さらに、出荷時期を遅らせることで、端境期における需要を取り込みたいと考えました。



低温貯蔵庫



シャインマスカット、ピオーネ、オーロラブラック（同社生産）

生じた課題への対応

- 自社農場を段階的に拡大していくのと並行して、近隣生産者や新規就農希望者への技術指導等高品質なブドウの生産に向けて産地のレベルアップを図り、当社が生産したブドウと同じブランドで流通することができるようになりました。
- 当社は独自の低温貯蔵庫を整備し、貯蔵技術の改良により、ブドウの品質を落とさず約3か月の長期保存を実現し、需要期・端境期に合わせた出荷時期の調整が可能となりました。

対応の結果

- 低温貯蔵庫の活用により供給可能時期が拡大し、新たな販路を獲得しました。
- 岡山大学の貯蔵技術の活用による流通コスト低減と需要期への売り込み手法の研究に、協力機関として参画することで、県産ブドウ及びモモの輸出拡大に貢献しています。
- 集荷実績・体制がまだ不十分で、供給量不足を十分補えるレベルではありませんが、取引先との信用の蓄積、物流コストの低減、ひいては産地の活性化に、少しずつ成果が現れてきました。

今後の課題・展望

- 自社農場だけではなく周辺生産者との連携をさらに強化し、需要に合わせた栽培方法の指導や情報・資材の提供により産地全体のレベルアップに取り組みたいと思います。
- また、販路の多様化、出荷期間の拡大等に取り組み、さらなる差別化、付加価値の向上を目指します。



農場での研修



海外高級スーパーでの販売の様様



農場からの出荷



ブランディングのため房毎にタグを付ける

【活用した支援・施策】就農促進トータルサポート事業

【ウェブサイト】http://www.nisshoku-group.co.jp/nisshoku_farm/index.ht

【連絡先】担当者名：株式会社日本植生グループ本社 長谷川

TEL：0868-28-5522